

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC913 U.S. PTO
09/680727
10/05/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2 0 0 0 年 3 月 3 日

出 願 番 号

Application Number:

特 願 2 0 0 0 - 0 5 8 4 7 7

出 願 人

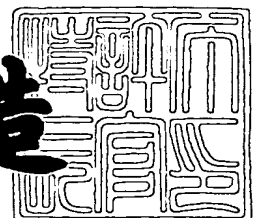
Applicant (s):

村田機械株式会社

2 0 0 0 年 8 月 2 5 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出 証 番 号 出 証 特 2 0 0 0 - 3 0 6 6 7 6 2

【書類名】 特許願

【整理番号】 00P057312

【提出日】 平成12年 3月 3日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明者】

 【住所又は居所】 京都市伏見区竹田向代町 1 3 6 番地 村田機械株式会社
 本社工場内

 【氏名】 谷本 好史

【特許出願人】

 【識別番号】 000006297

 【氏名又は名称】 村田機械株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100087664

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 中井 宏行

 【電話番号】 0797-81-3240

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 015532

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9805179

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネットワークファクシミリシステム及びこれに用いる統括サーバ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成したネットワークファクシミリシステムにおいて、上記通信ネットワークには、統括サーバを更に接続し、この統括サーバは、相手先電話番号などの相手先情報を記憶しており、この相手先情報は、各クライアントより照会できる構成のネットワークファクシミリシステム。

【請求項 2】

請求項 1 において、

上記統括サーバに記憶される相手先情報には、照会可能なクライアントが属性として付記されており、この属性によって、すべてのクライアントより照会可能な相手先情報と、特定のクライアントより照会可能な相手先情報とに区分されているネットワークファクシミリシステム。

【請求項 3】

複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成したネットワークファクシミリシステムに接続され、このネットワークファクシミリシステムに、請求項 1 または請求項 2 に記載の機能を実施させることのできる統括サーバ。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを接続する通信ネットワークに、統括サーバを接続して構成したネットワークファクシミリシステム、およびこの統括サーバに関する。

【0 0 0 2】

【従来技術】

近時、オフィス等においては、ネットワークファクシミリシステムが普及してきており、データ通信上有益な役割を果たしている。このようなネットワークファクシミリシステムは、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを、LANなどの通信ネットワークを介して接続して構成され、各クライアントよりいずれかのファクシミリサーバを指定して、相手先を指定したファクシミリ送信を指示したときには、ファクシミリサーバは、クライアントから受信したデータを、指定された相手先にファクシミリ送信するようになっている。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、上記した従来のネットワークファクシミリシステムでは、各クライアント毎に、データを送信すべき相手先情報（相手先名称や相手先電話番号など）が登録されているが、これらの相手先情報は各クライアント単位でしか管理できず、その管理がやりづらいといった問題点があった。

【 0 0 0 4 】

本発明は、上記問題を解決するためになされたものであり、複数のクライアントの各々よりデータを送信すべき相手先の情報を一元管理することのできるネットワークファクシミリシステムを提供することを目的としている。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の請求項1では、通信ネットワークには、統括サーバを更に接続し、この統括サーバは、相手先電話番号などの相手先情報を記憶しており、この相手先情報は、各クライアントより照会できるネットワークファクシミリシステムを提案している。

【 0 0 0 6 】

また、請求項2では、請求項1において、統括サーバに記憶される相手先情報には、照会可能なクライアントが属性として付記されており、この属性によって、すべてのクライアントより照会可能な相手先情報と、特定のクライアントより照会可能な相手先情報とに区分されているネットワークファクシミリシステムを提案している。

【 0 0 0 7 】

更に、請求項 3 では、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成したネットワークファクシミリシステムに接続され、このネットワークファクシミリシステムに、請求項 1 または請求項 2 に記載の機能を実施させることのできる統括サーバを提案している。

【 0 0 0 8 】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明の実施の形態について、図面とともに説明する。図 1 は、本発明のネットワークファクシミリシステムの要部構成の一例を示す図である。

【 0 0 0 9 】

このネットワークファクシミリシステムは、公衆回線網 N 1 に接続された複数のファクシミリサーバ 1 (# 1 ~ # n) と、複数のクライアント 3 (# 1 ~ # n) とを、通信ネットワークの 1 つである LAN を介して接続し、更に、LAN に、複数のファクシミリサーバ 1 を統括する統括サーバ 2 を接続することで構成されている。

【 0 0 1 0 】

なお、図中、4 はメールサーバ、5 はインターネット N 2 に接続されたルータを示しており、ルータ 5 を通じてインターネット N 2 より受信した電子メールや、各クライアント 3 から受信した電子メールをメールサーバ 4 に格納しておき、各クライアント 3 より、メールサーバ 4 にログインすることで、これらの電子メールを受信して参照したり、各クライアント 3 よりルータ 5 を通じて、インターネット N 2 にアクセスすることができる。また、ここでは、通信ネットワークとして LAN を用いているが、本発明ではこの例に限られず、WAN などを用いてもよい。

【 0 0 1 1 】

統括サーバ 2 は、後述する電話帳を備えており、各クライアント 3 より、この電話帳に登録された相手先を指定したファクシミリ送信の指示があると、指定された相手先に対応するファクシミリサーバ 1 を選択し、選択したファクシミリサーバ 1 に対して、クライアント 3 からのデータを送信し、指定された相手先にフ

ファクシミリ送信を指示するようになっている。

【 0 0 1 2 】

また、統括サーバ2は、各ファクシミリサーバ1よりデータを受信すると、所定のクライアント3を選択し、選択したクライアント3に対して、ファクシミリサーバ1からのデータを送信するようになっている。

【 0 0 1 3 】

統括サーバ2が備える電話帳としては、図2に示すように、全クライアント共通電話帳20、クライアントX専用電話帳21、クライアントY専用電話帳22があり、それぞれの電話帳20～22には、相手先情報として、相手先名称、相手先ファクシミリ番号、相手先電子メールアドレスが登録されており、更にオプションとして、親展送信などが登録される。なお、全クライアント共通電話帳20は、全てのクライアント3によって利用可能であり、クライアントX専用電話帳21は、クライアント3（＃1）でのみ利用可能であり、クライアントY専用電話帳22は、クライアント3（＃2）でのみ利用可能である。

【 0 0 1 4 】

これらの電話帳20～22に登録された相手先情報は、図3に示すような動作をもって、各クライアント3で照会することができ、いずれかのクライアント3より統括サーバ2に対して照会要求をすると（100）、そのクライアント3からは、照会を要求する信号に付随して、クライアント3のユーザー名やパスワードなどが送出されるので、統括サーバ2は、そのユーザー名やパスワードなどから、クライアント3の識別をし、識別結果に応じて以下の処理をなす（101）。

【 0 0 1 5 】

すなわち、識別結果（ここでは、クライアントXかクライアントYか）に応じて、電話帳20～22を照会し、いずれのクライアントX、Yからの照会要求に対しても全クライアント共通電話帳20を照会し、クライアントXからの照会要求に対してはクライアントX専用電話帳21を照会し、クライアントYからの照会要求に対してはクライアントY専用電話帳22を照会する。そして、統括サーバ2は、照会した電話帳20～22の相手先情報を、電話帳照会結果として、照

会要求のあったクライアント3に通知して表示させる(102)。これにより、複数のクライアント3の各々よりデータを送信すべき相手先の情報を一元管理することができる。

【0016】

なお、ここでは、統括サーバ2が備える電話帳として、全クライアント共通電話帳20、クライアントX専用電話帳21、クライアントY専用電話帳22を各々独立させて構成しているが、本発明ではこの例に限られず、図4に示す電話帳23のように、それぞれの相手先情報を照会可能なクライアント3を、属性23Aとして付記した構成としてもよい。こうすれば、クライアント3毎に電話帳を設ける必要がなく、統括サーバ2のメモリ容量を節約できる。

【0017】

次に、本発明で使用される統括サーバ2の要部構成の一例を図5に示しておく。この統括サーバ2は、CPUなどで構成され、以下の各部を制御する主制御部24と、クライアント3あるいはファクシミリサーバ1からのデータを一時格納するデータメモリ25と、先述した電話帳20～24を備えるRAM26と、この統括サーバ2が動作するために必要な各種プログラムなどを記録したROM27と、各種操作キーなどで構成され、電話帳20～24に相手先情報を登録するための操作部28と、この統括サーバ2をLANに接続するためのLANインタフェース29とを少なくとも備える。このような構成によって、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成したネットワークファクシミリシステムに接続すれば、このネットワークファクシミリシステムに対して、先述した動作を実施させることが可能となる。

【0018】

【発明の効果】

以上の説明からも理解できるように、本発明の請求項1に記載のネットワークファクシミリシステムでは、統括サーバは、相手先電話番号などの相手先情報を記憶しており、この相手先情報は、各クライアントより照会できるので、複数のクライアントの各々よりデータを送信すべき相手先の情報を一元管理することができる。また、相手先情報を、ファクシミリサーバやクライアントに登録する必

要がなく、これらのメモリ容量を節約できる。

【 0 0 1 9 】

請求項 2 に記載のネットワークファクシミリシステムでは、統括サーバに記憶される相手先情報には、照会可能なクライアントが属性として付記されており、この属性によって、すべてのクライアントより照会可能な相手先情報と、特定のクライアントより照会可能な相手先情報とに区分されているので、すべてのクライアントより照会可能な相手先情報と、特定のクライアントより照会可能な相手先情報とを、1つの電話帳として構成することができ、統括サーバのメモリ容量を節約することができる。

【 0 0 2 0 】

請求項 3 に記載の統括サーバでは、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成したネットワークファクシミリシステムに接続され、このネットワークファクシミリシステムに、請求項 1 または請求項 2 に記載の機能を実施させることができるようにしているので、複数のファクシミリサーバと、複数のクライアントとを通信ネットワークを介して接続して構成したネットワークファクシミリシステムに、この統括サーバを接続すれば、そのシステムは、請求項 1 または請求項 2 に記載の効果を発揮するようになる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明のネットワークファクシミリシステムの要部構成の一例を示す図である。

【図 2】

統括サーバが備える電話帳の一例を示す図である。

【図 3】

ネットワークファクシミリシステムの基本動作の一例について説明するための図である。

【図 4】

統括サーバが備える電話帳の他例を示す図である。

【図 5】

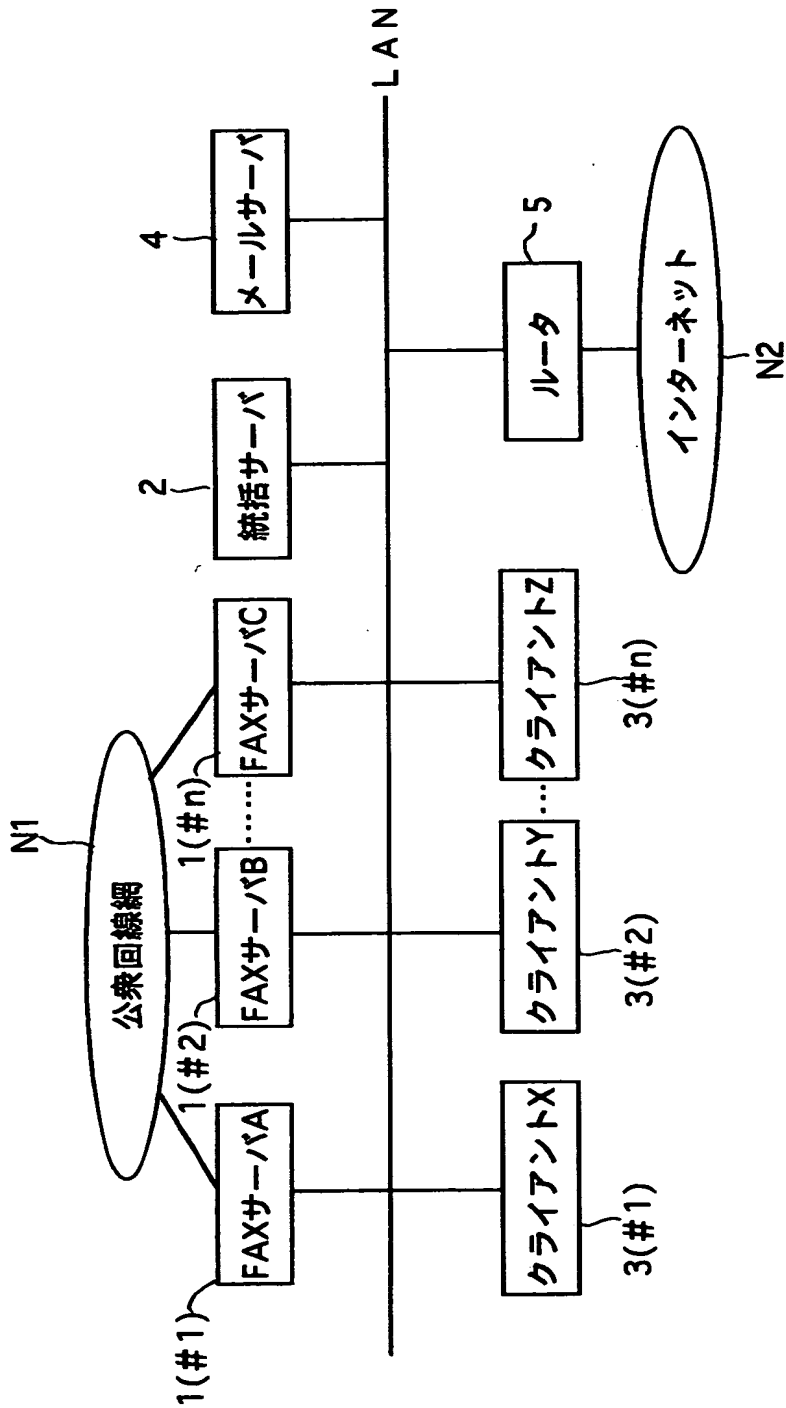
統括サーバの要部構成の一例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 . . . ファクシミリサーバ
- 2 . . . 統括サーバ
- 3 . . . クライアント
- 2 3 A . . . 属性

【書類名】図面

【図 1】



【図 2】

(a)

20

全クライアント共通電話帳			
相手先情報	FAX No.	e-mail	オプション
〇〇機械(株)	075-123-4567	abc@xxx.co.jp	親展
××産業(株)	03-1111-2222	ddd@xxx.com	-
⋮	⋮	⋮	⋮

(b)

21

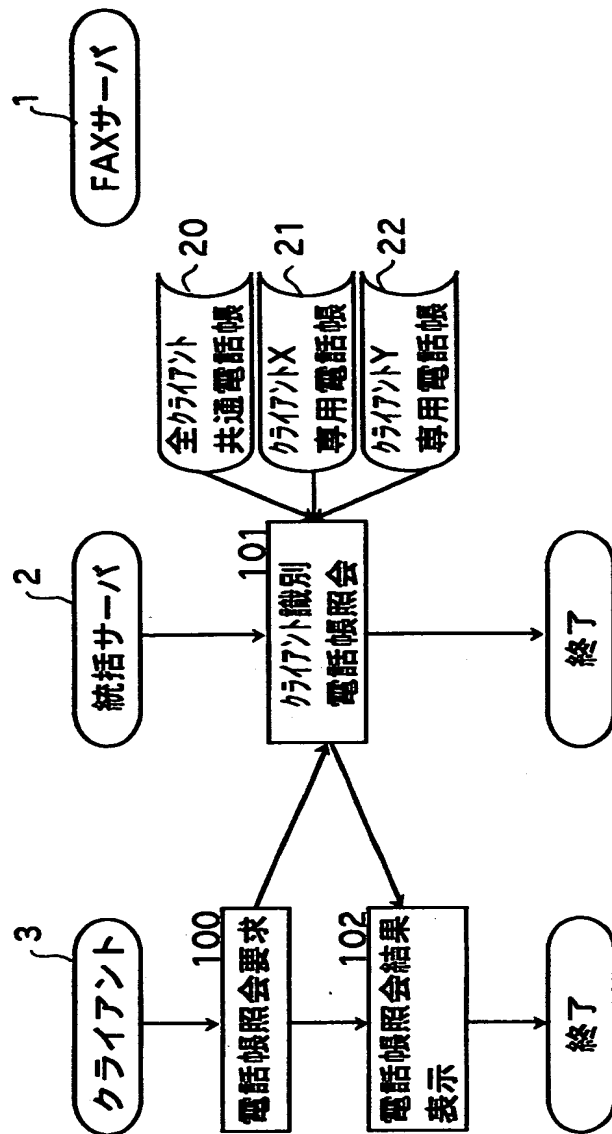
クライアントX専用電話帳			
相手先情報	FAX No.	e-mail	オプション
△△(株)	06-1111-3333	ppp@aaa.com	-
□□(株)	03-9999-1111	aaa@bbb.ne.jp	-
⋮	⋮	⋮	⋮

(c)

22

クライアントY専用電話帳			
相手先情報	FAX No.	e-mail	オプション
〇〇(株)	06-1112-9999	ppp@aaa.co.jp	-
△×(株)	06-2222-2525	uuu@bbb.co.jp	-
⋮	⋮	⋮	⋮

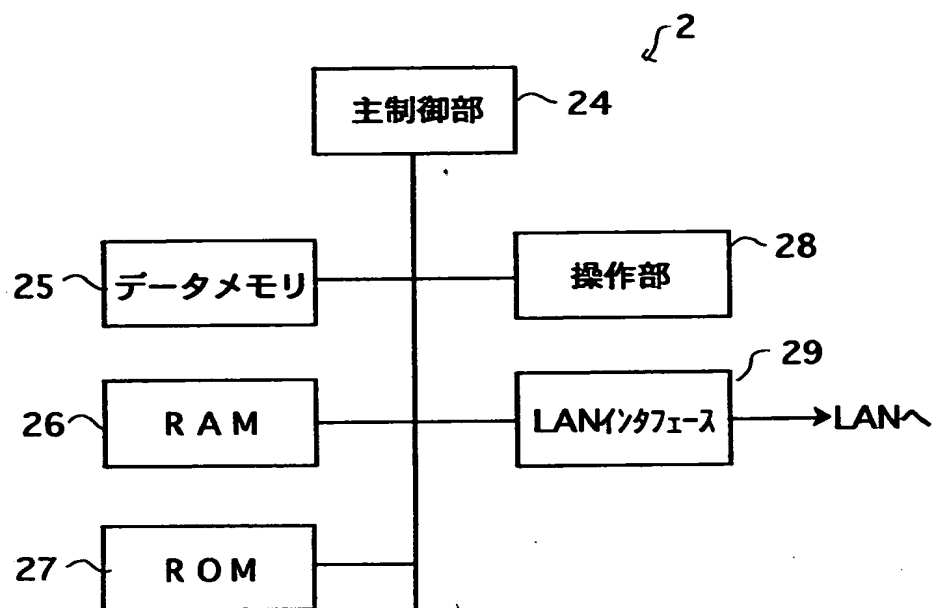
【図3】



【図 4】

電話帳		相手先情報	FAX No.	e-mail	オプション
共通	23A	〇〇機械(株)	075-123-4567	abc@xxx.co.jp	親展
		××産業(株)	03-1111-2222	ddd@xxx.com	-
クライアントA	23	△△(株)	06-1111-3333	ppp@aaa.com	-
クライアントB		□□(株)	03-9999-1111	aaa@bbb.ne.jp	-

【図 5】



【書類名】要約書

【要約】

【課題】複数のクライアントの各々よりデータを送信すべき相手先の情報を一元管理することのできるネットワークファクシミリシステムを提供する。

【解決手段】通信ネットワークには、統括サーバ2を更に接続し、この統括サーバ2は、相手先電話番号などの相手先情報を記憶しており、この相手先情報は、各クライアント3より照会できる。

【選択図】図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006297]

1. 変更年月日	1990年 8月 7日
[変更理由]	新規登録
住 所	京都府京都市南区吉祥院南落合町3番地
氏 名	村田機械株式会社